

2021年 11月 21日 <<収穫感謝礼拝>>

# 主 日 礼 拝

①8:30am ②10:30 ③1:30pm ④7:00

司 会 ②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 ②石井 秀人兄

賛 美 聖歌322番 ~ハレルヤ!主をほめよ!~

パウロの祈り①

聖書朗読 サムエル記上17章1~11節

特別賛美 サインダンス/アブラハム会

メッセージ 「感謝は力ある信仰の武器」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌231番 ~アメイジング・グレイス~

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 ~平和初めて知った~

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします!☆  
《今週のお知らせ》

- ★本日は「収穫感謝礼拝」です。主から与えられた恵みに心から感謝致します!  
第二礼拝直後、教会の大掃除を行います。ご協力ください(1時迄には終了)。
- ☆今週の祈り会は ○早天祈禱会:明朝6時。 ◎祈禱会:①木曜朝10時半~  
ボーマン・ルリ子先生(昼食なし)。②夜7時半~。○準備祈禱会:土曜夜8時。
- ★来週の日曜からアドベント(待降節)に入ります。〈司:白川兄/祈:村山姉〉。

☆一年に一回聖書を完読できる! Bible Reading Plan [11/21-/28]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	エゼキエル 19-20	21-22	23-24	25-27	28-30	31-32	33-34	35-36
新約	ヤコブ 1	2	3	4	5	1ペテロ 1	2	3
チェック	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

## 「感謝は力ある信仰の武器」

～与えられた恵みを忘れずに…～

「そしてイスラエルは、主が武器に頼らずにご計画を実現なさるということ、神様のなさることは人間の企てとは無関係だということを学ぶのだ。主はおまえたちを、私たちの手に渡してくださる。」

サムエル記上17章47節 [リビングバイブル]

本日は、少年ダビデが巨人ゴリアテと闘う場面です。少年と言っても子どもでもなく、大人でもないという状況でしょうか。しかし、3mくらいあるアナク人と呼ばれる巨人の子孫であるペリシテ人ゴリアテに対しては、普通の大人でも子どものように見えるかもしれません。そんな状況でダビデは武器も持たずに立ち向かい勝利してしまいました。そこにはイスラエルの全能の神である主への信仰という最も偉大な力ある武器を持っていた神の勇者ダビデの力がありませんでした。その時点でイスラエル人たちは目の前のことしか見えていませんでした。ペリシテ人という巨人たちの姿でした。

かつてのイスラエル人たちも同様でした。モーセの時代、荒野を旅をしていた時、神様が示される乳と蜜の流れる約束の地カナンを目指して進んでいました。そして、その場所を偵察に行くように12部族から一人ずつ選ばれて、偵察に行きました。そこから帰って来ると、彼らは恐れに満たされてしまって、あそこに行くことはできないと確信してしまいました。なぜなら、彼らは巨人たちで自分たちはいなごのように感じていたからです。

ダビデの時代に起ったこの闘いも同様でした。イスラエル人たちが偵察に行っていた期間も40日。ゴリアテがイスラエル人たちの前に登場しておびえさせていた期間も40日でした。イスラエルの人々はサウル王をはじめ、皆恐れに満たされていました。

しかし、モーセの時代のヨシュアとカレブ、そして、この時代のダビデだけは主への信仰によって勇氣と力を与えられていました。ダビデは特に預言者サムエルによって、特別な油注ぎを受けて、更に力に満ちていました。

ペリシテ人たちはこの時代、イスラエル人たちが正しく神に仕える民となるために与えられた敵の一つでした。神様は神の民イスラエルの民を整え、導くために諸外国をも用いられました。リーダーが国を治めるのではなく、神が国を、世界を導かれるのです。リーダーはそのことをきちんとわきまえて、神が世界を導かれることを知り、神を正しく恐れ、神に忠実に仕える僕とならなければなりません。

サウルにはその心が欠けていました。神を知らない国々の国主と同じようになっていました。だから、目の前の敵だけに目を奪われて、本来恐るべき全能の神様を全く見ていませんでした。しかし、ダビデはこの闘いでもきちんと理解できていたように、今後も、全能の神御自身こそがイスラエルを治める方であり、世界を治める方であることを理解した上で、その神に仕える僕として生きた王でした。

私たちの生き方もそこにあります。また、その生き方を次の世代に伝えていかなければなりません。教会が高齢化していると言われますが、その責任は私たちにあります。私たちが正しい信仰者としての手本になるならば、必ず、その恵みは継承されていくと確信します。